様式第３号

事務事業評価表（平成２６年度）

事業コード	1796	課コード	0304	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策　■経常　□なし

１．事業の概要(PLAN)

(1)事業概要	①事業名	基本事業		実施計画への位置づけ	○有　○無
		個別事業	地域防災計画修正業務		
	②部課名	市民生活部・市民安全課			
	③事業主体	●市　○その他（　）		④対象地区	□我孫子　□天王台　□湖北　□新木　□布佐　■全市
	⑤事業期間	平成２３年度　～　平成２５年度		⑥担当職員数	5 人　（換算人数　0.5 人）
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0 千円	当該(開始)年度	（当　初）4,734 千円　（うち人件費　4,650 千円） （変更後）千円　（うち人件費　千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード	70101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点３
	基本計画地区別計画への位置づけ	○有　●無		部門別計画への位置づけ	（計画名）地域防災計画
(2)目的	施策目的・展開方向	災害時の被害を軽減するため、防災訓練やハザードマップの配付などによって防災・災害情報の積極的な提供を行うとともに、自主防災組織や防災リーダーの育成など地域の自主防災活動を支援し、市民の防災意識向上を図ります。また、防災関係機関や自治体、企業などとの応援・協力協定の締結や、災害時や非常時に		事業目的	我孫子市の地震・風水害対策のすべての基盤の計画となる「我孫子市地域防災計画」について、「東日本大震災」の発災を踏まえ、法令や県地域防災計画に基づき修正を行い、実効性のある計画の整備を図る。
(3)事業内容	内　容	我孫子市の地震・風水害対策のすべての基盤の計画となる「我孫子市地域防災計画」について、「東日本大震災」の発災と現状を踏まえて、県地域防災計画の見直しと整合を図り、全体的な計画修正を行う。 修正にあたり、県との調整を行った上で、市民危機管理対策会議に諮問する。 台風等の災害による応急対応の中で、把握した問題点や課題等を検証し、迅速かつ的確な対応ができるような計画の修正を行う。		当該年度執行計画	・「災害弱者対策行動計画」の策定 全体計画の見直し　４月～８月 個別計画策定への検討　９月～
				当該年度活動結果指標	・「災害弱者行動計画」の改定　単位：計画数　想定値：1　実績値：

(4)達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類	指　標	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該(開始)年度	「災害弱者行動計画」の修正	直接	「災害弱者行動計画」の改定	計画数	0	1
３年後		－			0	0
最終(概ね５年後)		－			0	0

(7)事業実施上の課題と対応	市全体の財産・生命に関わり、全職員の災害時の体制も決定する大きな計画の修正であるため、容量も多く正確で精密な内容が求められるが、県との綿密な打ち合わせや地道な確認を行っていく。	代替案検討	○有　●無

(8)施行事項

	平成２５年度 内容	金額(千円)	平成２６年度 内容	金額(千円)	実績値(千円)	平成２７年度 内容	金額(千円)	平成２８年度 内容	金額(千円)
実施内容	＊「各課対応マニュアル」業務委託	2,208	災害弱者対策見直し検討委員会報償費 3500円×8人×3回	84					
	＊「業務継続計画」作成業務委託	3,469							
	＊「災害弱者行動計画」改定業務委託	2,352							
	災害弱者対策行動計画見直し検討委員委員報償費	84							
費用 予算(済)額	合　計	8,113	合　計	84		合　計	0	合　計	0
(9)財源内訳 国庫支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
県支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
起債	充当率 0 %	0	充当率 0 %	0		充当率 0 %	0	充当率 0 %	0
一般財源		8,113		84			0		0
その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0		□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0
(10)人件費等 換算人数(人)	0.45		0.5				0		0
正職員人件費	4,185		4,650				0		0
嘱託職員報酬額	0		0				0		0
臨時職員賃金額	0		0				0		0
事業費(予算(済)額＋正職員人件費)	12,298		4,734				0		0
(11)単位費用（事業費／活動結果指標）	4,099.33千円／計画数		4,734千円／計画数						

２．事業の評価(DO+CHECK)

評価項目	事前評価		事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））		改善検討
必要性 (1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	「東日本大震災」の発災を踏まえ、我孫子市の地震・風水害対策のすべての基盤の計画となる「我孫子市地域防災計画」について、法令や県地域計画と整合した修正を行う必要がある。		○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞		○要 ○不要
必要性 (2)市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他	＜その他の内容＞	□①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他	＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞	○要 ○不要
	○②自治体である市が推進すべきである (理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他	＜その他の内容＞	＜その他の内容＞		
参加・協働の工夫 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容	工夫の具体的な内容	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）	参加・協働の程度・内容	○要 ○不要
	●①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他	災害弱者対策行動計画見直し検討委員会を設置。 自治会、自主防災組織、民生委員、高齢者、障害者等の団体からの代表者と庁内関係課で構成。		○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞	
	＜その他の内容＞				
環境への配慮 環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点	取組む内容	実施した具体的な内容	環境への配慮	○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他			○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞	
	＜その他の内容＞ 街頭なし				

効率性

	現況値(a)(計画数)	目標値(b)(計画数)	目標値の妥当性のチェック	達成状況 実績値(f)(計画数)	達成率(%)(f/b×100)		
(1)目標設定は適切か？	0	1	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞	○要 ○不要

(2)事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減 事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策	実施状況 実績値(g)(千円)	対事業費(%)(g/c)×100		事業費の削減対策について	
	4,734	7,564	□①国・県助成制度活用　□⑤ＰＦＩ等民間資本の活用 ■②現有体制での対応　□⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施　□⑦その他 □④民間委託			○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞	○要 ○不要
	事業費削減率(%) 61.51		＜削減の内容＞	＜超過理由等＞				

(3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)	単位	費用単位	計算方法	達成状況 実績値(h)	対目標値(%)(h/e)×100		＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞	
	0.02	計画数	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費 ○②複数年度の指標：(目標値－現況値)×費用単位／事業費			○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要

３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向